

学校教育目標	「よりよい自分をつくる大豆戸の子」～なかよくかしこくたくましく 笑顔いっぱい大豆戸の子～ ○自ら問題を発見し、主体的により良く解決する子ども(知) ○多様な意見や立場を尊重しながら自分も周りの人も大切にできる子ども(徳) ○運動の楽しさを味わい健やかな体を作る子ども(体) ○地域や横浜のために自分ができていることを考え行動する子ども(公) ○自分を見つめ共に生きる大切さを感じる子ども(開)					
学校概要	創立 47 周年	学校長 八城 政徳	副校長 松浦 悠樹	2 学期制	一般学級: 19	個別支援学級: 6
	児童生徒数: 625 人	主な関係校: 大綱中学校 篠原中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に学ぼうとする力 人との関わりを豊かにする力 自他を認め合い意欲的に生きようとする力	大綱中学校 大豆戸小学校 大綱小学校 太尾小学校 菊名小学校	○主体的に学習に取り組む子ども～学び合う～ ○あいさつができ、友達や地域との関わりを大切に子ども～関わり合う～ ○自分の良さを活かしながら夢や目標に向かってチャレンジする子ども～未来を創る～ ○子どもたちによる主体的なあいさつ運動を全校展開していき、家庭・地域への啓発に努める。 ○小中共通する内容の小中合同授業研究テーマのもと、各教科・領域においてテーマを意識して展開された授業を通して小中9年間で身に付けさせる力について確認を進める。 ○児童・生徒交流日を有効に活用し、中学校進学への夢と希望をふくらませていく。

中期取組目標	○学校教育目標の実現に向けて、家庭、地域や社会との連携を深め、学校教育目標の実現を目指します。 ア)EIM活動を支え、子どもの主体的な活動を推進し、一人ひとりが楽しく学校生活を送れるようにします。 イ)「ひと・もの・こと」との豊かな関わりを大切にする授業づくりを推進し、子どもの表現力を向上させます。 ウ)体力テストや生活状況調査の結果をもとに体力の向上を図り、健康な心身を作るための生活習慣が身に付くようにします。 エ)子どもの思いを大切に異学年交流や体験的な活動、感動体験を推進しながら、豊かな心を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①重点研究テーマ「子どもも先生ももっと楽しい」学級経営に向かい、授業研や研修等で研鑽を積んでいきます。また社会情動的コンピテンシーと学力の関係について視覚化します。よい実践や研修内容を共有していきます。②より良い授業を誰もができるように、教科担任制やチーム担任制等を活用し授業力向上、学級経営力向上を図ります。
担当	推進部会	
徳	道德教育	①道德科の授業を中心に、児童が自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、なりたい自分に近づけるようにします。②「特別活動」「たてわり活動」を通して、より良い人間関係の構築を図れるようにします。③地域の人や材との関わりを通じ、児童がまちの一員としての自覚をもてるようにします。
担当	道德部	
体	健康教育	①体力テストの結果を基に体力の向上を図ります。結果をデジタル化し、自分自身の体力の高まりや特徴を客観的に確認できるようにします。②体育科(保健)を中心に、児童が生涯にわたって運動を親しもうとする素地を養います。そのために、児童と共に学習計画を作ったり、運動特性を踏まえた授業を展開したりします。
担当	体育部	
公開	自分づくり	①年間を通して計画的に横浜プログラムを実施し、自己肯定感を高められるようにします。②行事や日々の生活の中で、ふり返りを大切に、自他の良さを認め合えるようにします。③生活科や総合的な学習の時間などを活用し、人との出会いを通して、社会や集団の中での役割を認識できるようにします。
担当	児童指導委員会	
いじめへの対応		①いじめ未然防止のための取り組みとして、年間を通してYPを実施していきます。また、多くの教職員が児童と関わるように、学年単位でなく低中高ブロック2学年単位で指導に当たります。②いじめと疑われる訴えがあった際には、いじめ防止対策委員会を速やかに開き、組織で対応します。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンター研や学年等でのOJTで指導力の向上に努めます。個々の課題設定やキャリアに応じた育成を大切にします。②時間外勤務の削減に努めます。遠足行事や運動会、学習交流会の日程の工夫をし、効率よくかつ効果的な行事運営をしていきます。③職員会議で5分程度の働き方改革研修を実施します。
担当	教務	
児童指導①		①月一回抽出児童を決め、ケース会議を行い低中高ブロック複数対応で支援していきます。また翌月に支援の振り返りや次の支援について話し合います。②保護者の願いに寄り添った個別の支援計画を作成し、効果的な取組を進めます。
担当	特別支援	
児童指導②		①児童の人権意識を高めるために、各委員会の人権に関する取り組みを必ず行うようにします。②児童が「まめどっ子のきまり」を、自分事として捉えることができるようにします。そのために、振り返りのアンケートや代表委員会での話し合いをします。
担当	児童指導委員会	
情報教育		①問題解決・探究の過程で、児童が必要感をもちながら効果的に活用できるように、ICTを活用する場面を取り入れます。②情報社会の特性を理解し、適正な活動ができる考え方や態度等を身に付け、情報モラルに関する知識と技術の向上を目指します。
担当	情報教育部	
担当		